



第2回家庭教育学級～4年学年行事「命を育む授業」



10月4日（水）に、PTA文化部と4年PTA学年部の共催で、「命を育む授業」が開催されました。当日は、群馬県助産師会から派遣された助産師真下さんと古澤さんの二人の講師に指導いただきました。

体育館には、たくさんの4年生の保護者や文化部の役員さんに来ていただき、4年生とともに、一人一人の「命の大切さ」を学ぶことができました。この日のために、地域にお住まいの妊婦さんに協力していただき赤ちゃんの心音を聞かせていただいたり、坂爪君とそのお母さんには、赤ちゃんが生まれる様子を演技していただいたりしました。これらから、一人の人間が生まれることの大変さや、母親・父親の思いを子供たちは感じ取ったことと思います。最後に実際の出産の様子をDVDで視聴し、かけがえのない命、みんなに喜びと幸せを与えている命について、助産師さんよりお話をいただき講座が終了しました。

これらの活動を通して、一人一人の自尊感情の向上や家族内コミュニケーションの向上につながったことと思います。また、この授業を通して、「生きてるだけで百点満点」という言葉の素晴らしさを改めて思い知りました。心にしっかり残る感動的な授業でした。



伝統芸能に触れる～落語家を招いて 10/13(金)

この行事は、桐生市スポーツ文化事業団の主催事業で、その企画に学校が応募して行われたものです。昨年度に続いて開催されました。

当日は、落語家の立川左平次さんと立川只四楼さんより、4年生に向けて、落語の授業をしていただきました。まずは、只四楼さんが古典落語「子ほめ」を、続いて真打ちの左平次師匠が3本の古典落語を披露してくださいました。

普段、あまり聞く機会のない落語ですが、二人の語り口調に、子供たちは大盛り上がり。笑いっぱなしの1時間でした。



桐生市小学校陸上記録会 10/12(木)

なかなか秋らしいすっきりとした青空が見えない日が続いておりますが、当日はまた夏が戻って来たのではないかと思わせる晴天で、気温も30度近くになりました。そのような中、この度、桐生市営陸上競技場において、第52回桐生市小学校陸上記録会が開催されました。本校からは5・6年生の代表が23名出場しました。選手たちは、運動会が終わってから、放課後自分の記録を伸ばそうと、ほぼ毎日練習に励んできました。また、今年には桜木中学校の陸上部の生徒が、10～11日の放課後指導に来てくれました。

記録会当日は、皆緊張した顔をしていましたが、自分の種目が始まると、練習してきた力を発揮しようと頑張っており、取り組んでいました。

今回の大会で上位4名に入るか、県大会出場標準記録を突破した選手は、10月28日の群馬県民の日に、正田醤油スタジアム（県営敷島陸上競技場）で行われる県陸上教室記録会への出場権が与えられます。神明小学校では、6年生阿部ナオさんが50mハードルで1位となり、県大会に参加できることになりました。阿部さんは、県大会でも力を発揮できるよう頑張ってくださいね。入賞、そして県大会出場おめでとうございます。



<指導に来てくれた中学生>



子供たちの活躍場面のスナップショット



緑の少年団活動 10/7(土)

この度、中央公民館で、第42回桐生市緑化推進大会が開催されました。

「緑と花と笑顔のまち桐生」を目指し、桐生市と桐生市みどりと花の会が主催して行われる大会ですが、毎年市内小学校の緑の少年団代表が参加します。本校からは、6年生の吉田君と川合君が参加しました。会場には、緑と花のポスター入賞者の作品が展示されておりました。